

---

# 心音

翠

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

心音

### 【著者名】

ZZマーク

N1873B

### 【作者名】

翠

### 【あらすじ】

詩です。「光・SOMEDAY・蝶・空色・潮風・涙かれるまで」

(前書き)

初めて書いてみました。  
まだまだなのですが・・・。  
短いものをまとめてみました。

“光”

暗くて暗くて

喉が詰まって声も出ない

真つ暗な暗闇の中・・・

見つけたのは光。

小さな小さな光。

君を見つけた。

“SOME DAY”

時を越えて、

君と出会えたたら・・・

もう一度、もう一度。

生まれ変わったら・・・

君に触れたい。

= 空色 =

空を見上げて  
君を思う。

いつだつて空は澄んでいて  
私の心を包み込んでいく。  
ただ見ているだけで  
私の心は穏やかになる。  
満たされていく。

切なくなつて 涙を流しそうになる。

この切なさが何なのかは分からぬケド・・・  
君を想う切なさに・・・  
ちょっとだけ似てるかな。

〃蝶〃

この広い世界で

私の存在が確かならば  
私の存在があるのならば

私は何処へでも飛び立とう

目の前に現れる全ての障害を乗り越えて・・・

何処までも。

私の望むトロロへ。

・・・

ねえ。

「蝶」ってキレイだと思わない?

たくさんの花の間を飛び交つて・・・

空高くに羽ばたく

あの姿。

私は・・・

そんな彼らの姿に

ちょっとした憧れを抱いている。

= 涙枯れるまで =

「きつと明日は笑えるから」

つて君は言つけど

明日、だつて泣いていいんだよ。

僕でよけりや

涙をうけとめてあげる事くらいは出来ると思つかう。  
涙が枯れるまで泣きなよ。

“潮風”

君は言う「大丈夫。」

僕は幾度その言葉に助けられただろう

君の小さな手は温もりに満ちてて  
僕に差し出す手はあたたかすぎた

いつしょに歩いた

海沿いの坂道

潮風が今も僕に絡み付いてる

君はいつも笑顔で・・・

僕の心をいつまでも締め付ける

僕は今日も潮風を頼りに  
君を探すよ

君の存在は確かにそこにあるのに  
君が見当たらぬ・・・  
見えない

君の香りは何だっけ?

君の顔がぼやけていくよ・・・

君の声が遠くに消えてく・・・

無残にも時は流れる事を知っていた  
僕の中の君はいつしか写真がなければ  
思い出せなくなるのかな・・・

涙がからかった・・・

鼻を潮風がくすぐる

君はいつも潮の香りがした・・・

いまだ僕は君を・・・  
いまだ君は僕を・・・。

-kokone-

(心音)

(後書き)

どうだったでしょうか?  
頭に浮かんだものを書いてみたのですが・・・。  
出来ればご感想などいただけると嬉しいです。  
次回作の参考にしたいと思います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1873b/>

---

心音

2010年10月17日14時47分発行